第60号　2024(令和6)年3月10日

Alumnae

★ Alumnae「アルムネー」はラテン語で「女子卒業生」という意味です。★

学生募集停止発表とその後について

学長　石原　敬子

4月に皆様にご報告しましたとおり、大学を取り巻く社会情勢の大きな変化の中で、本学は学生募集停止を決定いたしました。数年後に母校がなくなるということに対し、卒業生の皆様からも悲しみや悔しさの声が届いております。心からお詫び申し上げます。

1955年の短期大学英語科設置以来、本学は一貫して小人数教育を特徴とし、人を支え、グローバルな視野をもって社会に貢献することのできる女性の育成に取り組んで参りました。小規模であることを大切にしてきたのは、託された一人ひとりの学生を、かけがえのない存在として大切にていねいに育てることを使命と考えたためです。

物質的な価値観に重きを置きがちな今の社会、急速にAI化が進み、学校で学ぶこと自体の意味が問われ始めている現代社会にあって、一人ひとりの学生と向き合い、対話し、人間教育に重きをおく本学の教育は、学生のその後の人生において間違いなく意味のあるものです。その教育実績・就職実績から、「小規模だが評価できる女子大学」「面倒見の良い大学」として高校の先生方からも高く評価されてきました。社会において一定の役割を果たしてきたと自負するからこそ、今回の決定は私自身とても残念ですし、本当に申し訳なく思います。

当初、学内でも多くの人が戸惑い不安を口にしていましたが、現在は落ち着きを取り戻し、学生たちもそれぞれの進むべき道を邁進しています。昨年10月末に開催された大学祭は、4学年が揃う最後の大学祭ということで、大学生活そして人生の大切な1ページとして記憶に残る1日にしようと、大学祭運営委員会の学生たちが「栞」というテーマを設定して開催しました。同窓会の皆様からも多大なご援助いただき、多くの卒業生のご参加を得て大盛会に終わりました。

これから閉学に向け、学生数も減少し、学内における活動も少なくなって参ります。今在籍する学生たちの学生生活に少しでも「栞」を増やしていくことができるよう、卒業生の皆様のお知恵とご協力をいただけないかと検討をしているところです。学生一人ひとりが、自分の大切さに気付き、周りの人への思いやりの心を育みながら、人と社会に仕える力を身につけていくことができるよう、そして、海星で学んでよかったと思って卒業していくことができるように、皆様にも支えていただきたいですし、海星の繋がりをこれからさらに強めていっていただきたいと願っております。

Pick Up!

P2　第55回同窓会総会報告
P6　大学祭に参加　楽しきつどい
P7　同窓会だより